



# 輝くひとみ



## してはだめ 自分がされて いやなこと

中仙小学校では、自分を大切にするとともに他の人への思いやりの気持ちをつたえられる子どもを育んいきたいと思っています。自分を大切にできる子どもは、他の人も大切にできます。自分を大切にしてもらっている子どもは、他の人も大切にできます。

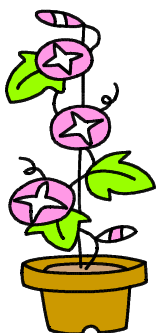
人は生まれながらにして幸せに暮らす権利があり、その権利を奪ったり脅かしたりはできません。もちろん仲間はずれやひやかしなど人のいやがるような行いは絶対にされないことです。もし理由があるとしても、分かるように話をすればいいのであってそうした行いが許されることではありません。子どもたちとも確認をしていることです。

学校では、5月に子どもたちの人間関係づくりを育むために学級ごとの「Q-U 調査」と個別の「生活アンケート」を行いました。こうした調査をもとに学級での指導をしたり、困りごとの相談をしたりしながら一人ひとりにとっての「楽しい学校」「心の居場所のある学校」をめざして全職員で努めているところです。

けんかの場面や傷つけるような言葉づかいを耳にした時など全職員のアンテナが反応。教師の直感は、「遊び」か「からかい」かを見逃しません。お家の皆さまの「気づき」も見逃さないようにお願いします。

学校以外の場所…たとえば登下校中（スクールバス）、スポ少活動、町内活動…帰宅後の生活に至るまで、子どもたちにとって好ましい人間関係を紡ぎ合う大切な場です。いつでも、どこでも、だれにでも、子どもたちが人間らしく思いやる言動でふるまえるよう、私たち大人が温かい言葉をかけていきたいものです。

お子様のことで、あるいは友人関係のことで、気がかりなことがありましたら、ためらわずに担任あるいは学校へご連絡あるいはご相談ください。夏休み中の保護者面談をご利用されても結構です。



### 命をはくぐむ中仙の子等

今朝も花壇の花やプランターの花に水かけをしている子どもたちです。畑にもじょうろを持って水かけをしているお世話じょうずな子どもたちです。〈もも組の畑では、きゅうりを収穫してごちそうをしてくれました。味噌マヨもおすすめですが生クリームもスイーツ化できる隠れ調味料でした。〉

☆花を育てる ☆野菜を育てる ☆うさぎの世話をする

命のあるものを慈しみ育てる体験は、命あるものを大事にする心につながります。夏休み中も命を慈しむ体験を継続できたらありがたいです。